

# 組合員と共に歩むJA金沢市

～相談業務を柱に築く未来への挑戦～

## 目次

- ①はじめに
- ②JA金沢市のあるべき姿
- ③JA金沢市の現状
- ④現状からみる問題意識
- ⑤分析からの課題
- ⑥改善提案－JA金沢市の未来を築く－
- ⑦おわりに



葉っぱーちゃん



橘 徹

①はじめに

②あるべき姿

③現状

④問題意識

⑤分析と課題

⑥改善提案

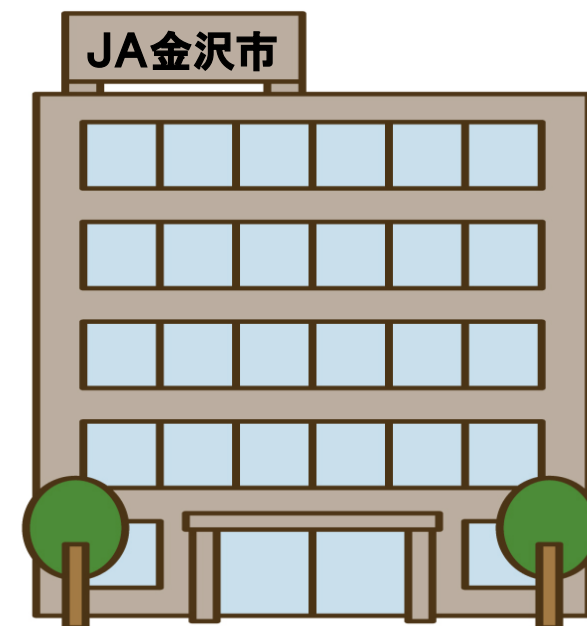
⑦おわりに

1993年（平成5年）4月1日

2024年（令和6年）4月1日



31年経過



本店・支店27（信用・共済・購買・販売）  
事業所など

本店・支店10（信用・共済）  
アグリセンター5（購買・販売）・産直店舗3  
事業所など



## 農業協同組合

| 日本                                      | 海外                                                    |
|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| <p>総合農協</p> <p>信用・共済<br/>購買・販売・指導など</p> | <p>専門農協</p> <p>作物別の共販指導<br/>作物別の生産指導<br/>生産資材購買事業</p> |



## JA金沢市経営理念

協同組合の精神を基に、農協事業を通じて  
**組合員や地域住民の信頼と期待に応え、**  
地域の発展と心豊かな暮らしの向上に寄与します

総合事業  
JAらしさ

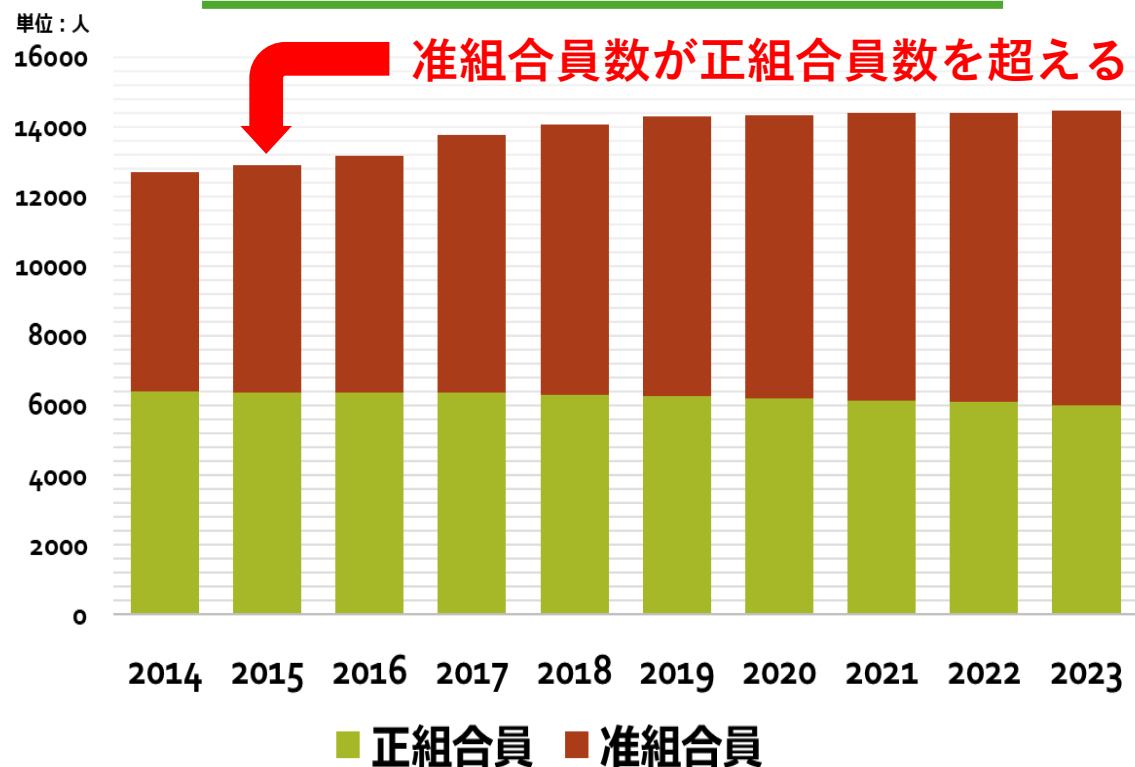
何でも話せる

自分ごとのように  
考えてくれる

**相談業務**



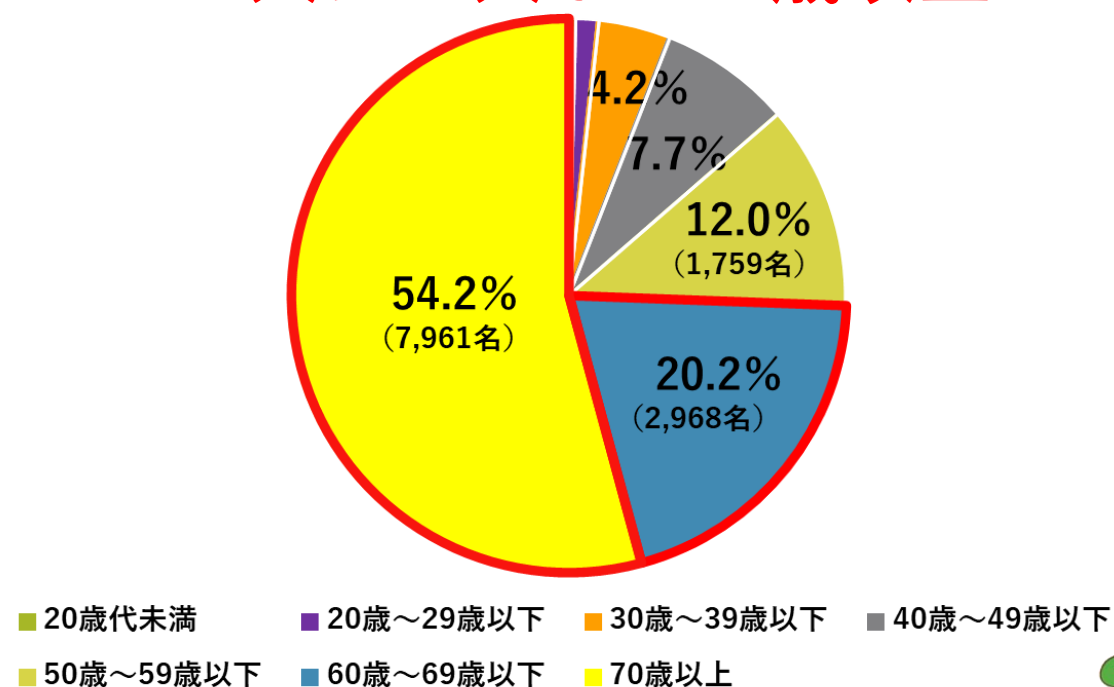
## 組合員数の推移



出典：平成26年～令和5年ディスクロージャー誌を基に筆者作成

## 組合員の年齢構成

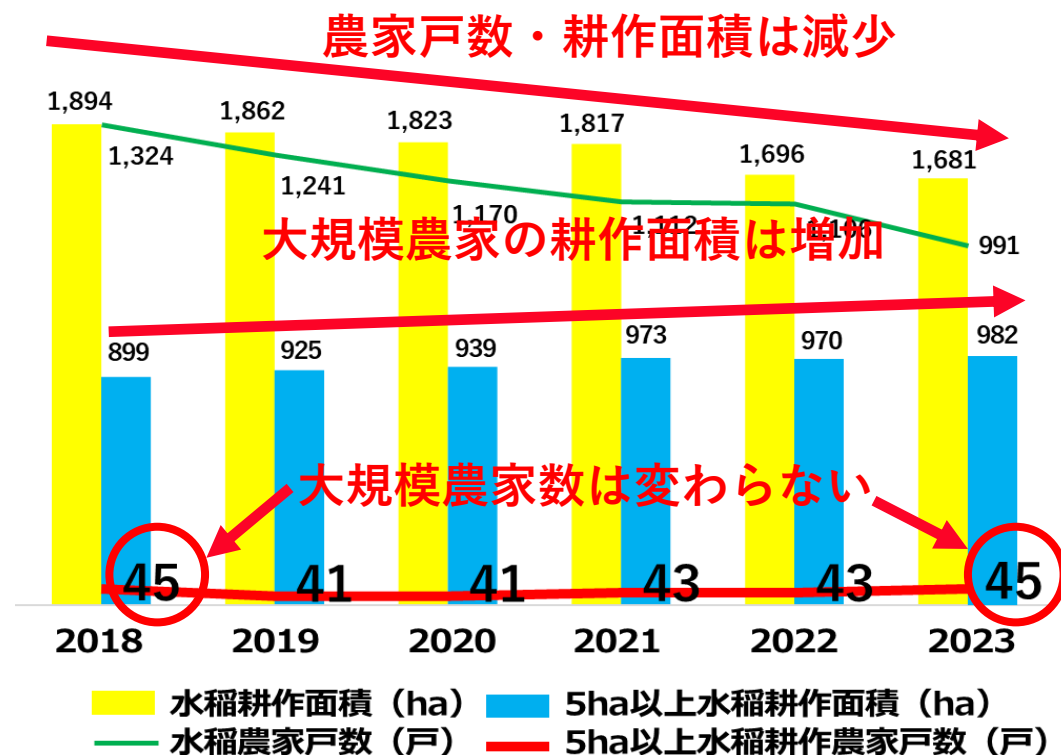
4人に3人が60歳以上



出典：令和5年ディスクロージャー誌を基に筆者作成

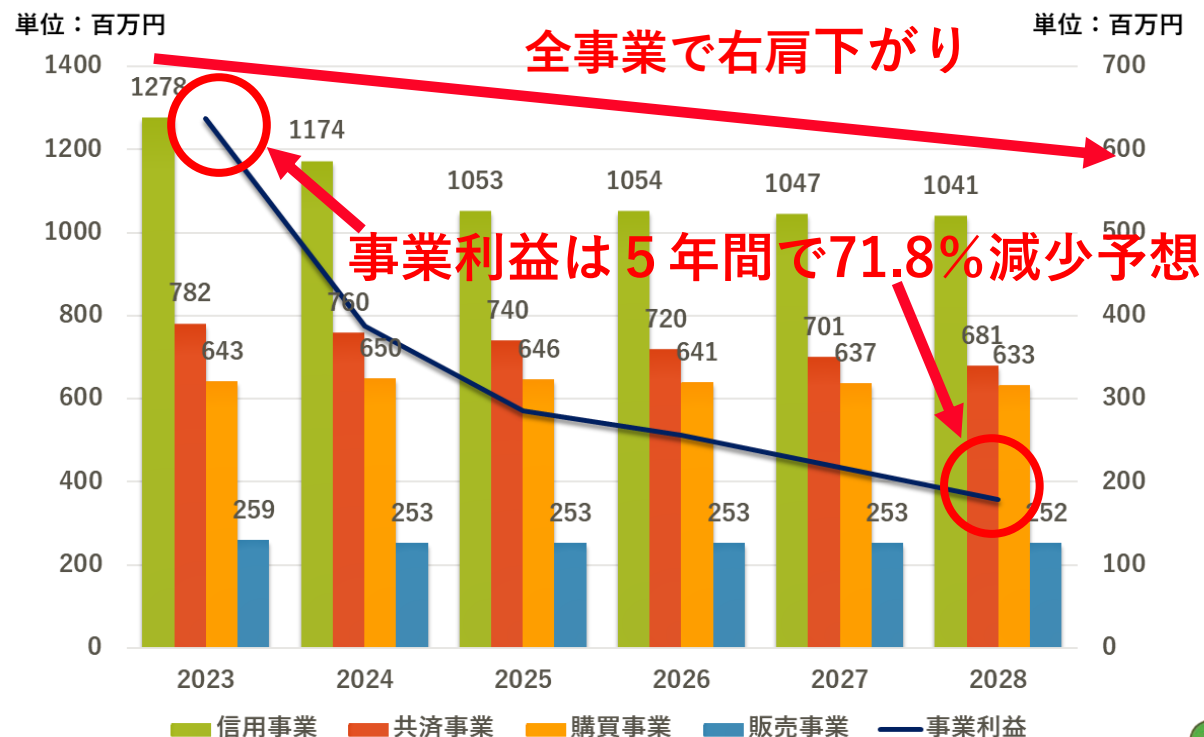


## 水稻農家戸数と耕作面積



出典：JA金沢市担い手支援室作成

## 経営シミュレーション



出典：JA金沢市企画管理課データに基づき筆者作成



問題

- ① 水稻農家は減少し大規模農家へ農地集積が進む
- ② 組合員の高齢化により組合員が減少に向かう  
特に正組合員の減少が著しい
- ③ JA金沢市の経営状況が悪化していく

課題

**組織基盤・経営基盤強化**  
**地域農業の継続**  
**後継者のJA事業利用**

対応

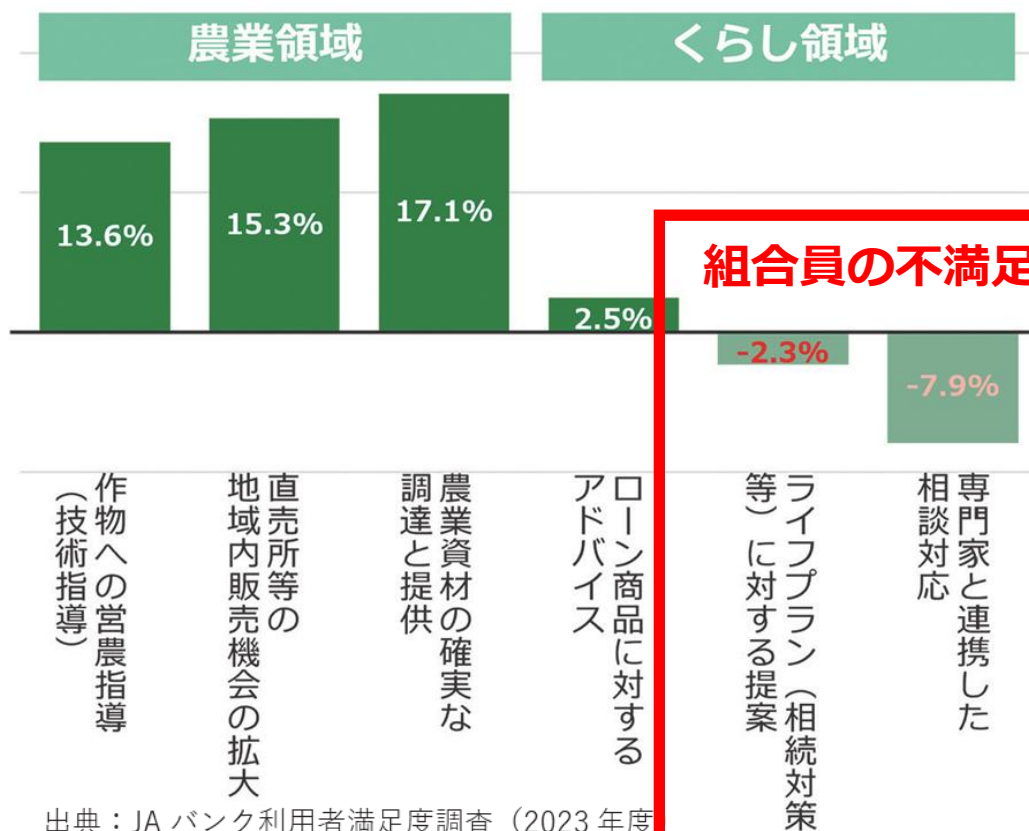
**相続**  
**事業承継**



## 相続の現状

- ①金融資産の増加
- ②不動産価格の上昇
- ③相続税法の改正
- ④相続人間の係争

## JAへの期待と評価のギャップ

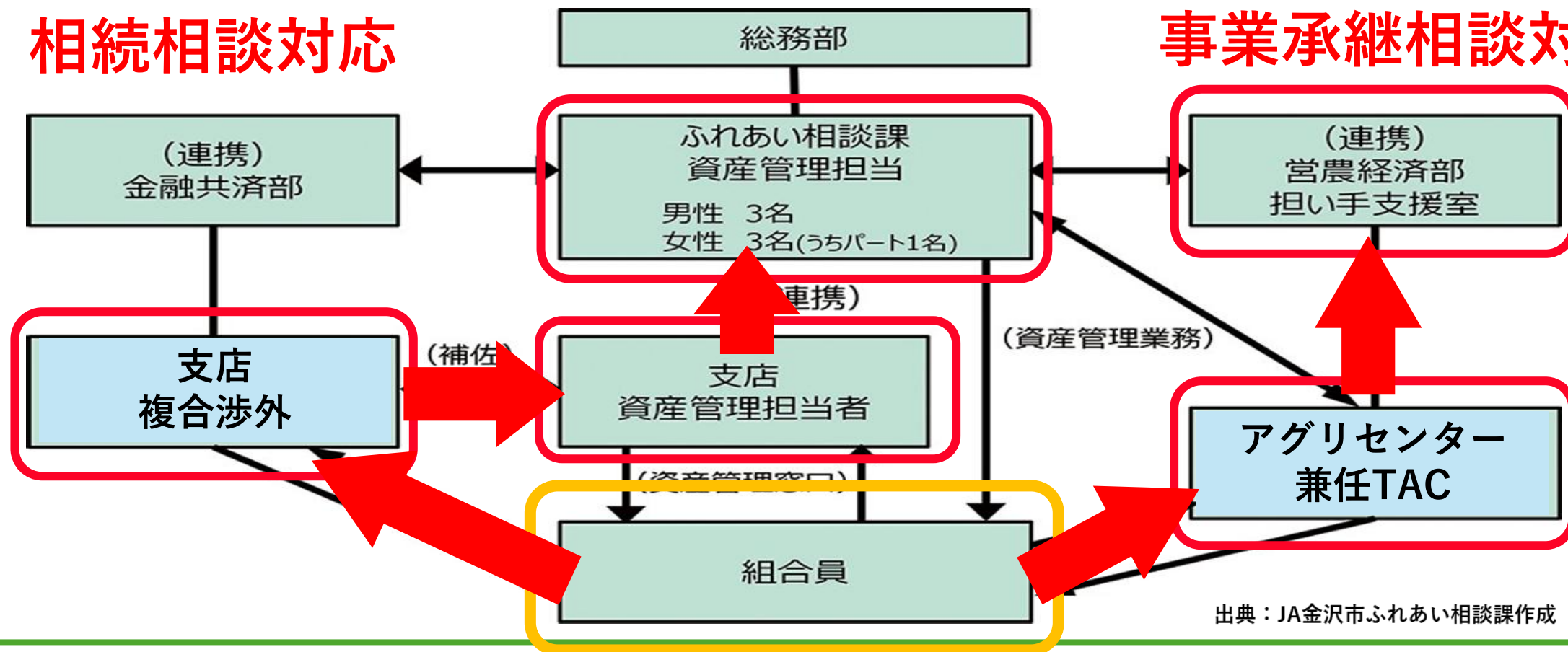




## 相続・事業承継の相談体制

### 相続相談対応

### 事業承継相談対応



出典：JA金沢市ふれあい相談課作成



①はじめに

②あるべき姿

③現状

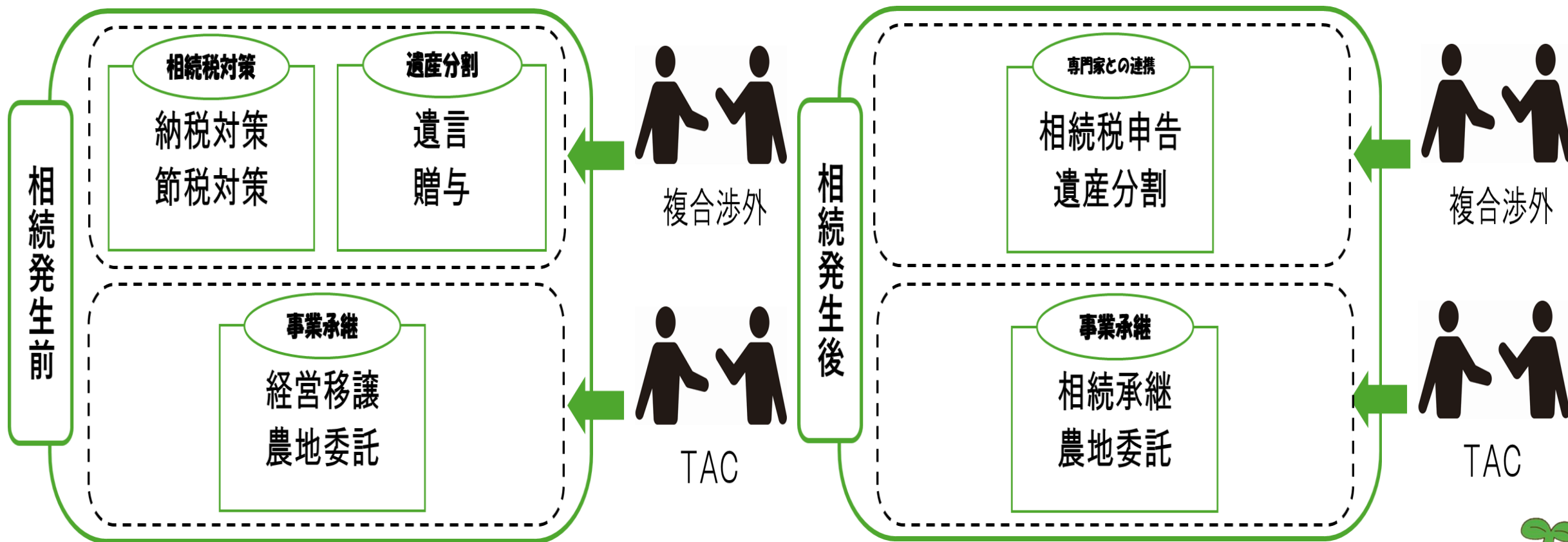
④問題意識

⑤分析と課題

⑥改善提案

⑦おわりに

# 相続・事業承継相談の対応スキーム



出典：筆者作成



①はじめに

②あるべき姿

③現状

④問題意識

⑤分析と課題

⑥改善提案

⑦おわりに

# 複合渉外・TACアンケート結果

| 経験年数  | 複合渉外 | TAC | 質問内容                  | 複合渉外 (40名)             | 回答人数 | TAC (22名)              | 回答人数 |
|-------|------|-----|-----------------------|------------------------|------|------------------------|------|
| 10年以上 | 17   | 3   | ①相談内容の分野 (複数回答可能)     | 相続                     | 37   | 営農指導                   | 21   |
|       |      |     |                       | 共済                     | 36   | 相続・事業承継                | 5    |
|       |      |     |                       | 年金                     | 30   | 共済                     | 3    |
|       |      |     |                       | 融資                     | 29   | 生活指導                   | 2    |
|       |      |     |                       | 不動産                    | 21   | 融資                     | 2    |
|       |      |     |                       | 税務                     | 21   | 税務・労務                  | 2    |
| 7~10年 | 9    | 2   | ②相談してほしいか             | 満足度向上とJA事業利用向上に結び付けたい  | 33   | 満足度向上とJA事業利用向上に結び付けたい  | 18   |
|       |      |     |                       | 相談してほしいが、相談されれば解決したい   | 6    | 相談してほしいが、相談されれば解決したい   | 4    |
|       |      |     |                       | 知識が乏しいので相談してほしい        | 1    |                        |      |
| 4~6年  | 7    | 6   | ③相続・事業承継業務が推進活動に結び付くか | 結び付く                   | 33   | 結び付く                   | 14   |
|       |      |     |                       | 結び付けたいが難しい             | 7    | 結び付けたいが難しい             | 7    |
|       |      |     |                       |                        |      | 結び付かない                 | 1    |
| 1~3年  | 7    | 11  | ④相続・事業承継相談対応スキル       | たまには分からないこともあるが概ね対応できる | 22   | たまには分からないこともあるが概ね対応できる | 6    |
|       |      |     |                       | スキル不足により、即答ができないことが多い  | 17   | スキル不足により、即答ができないことが多い  | 12   |
|       |      |     |                       | まったく対応できない             | 1    | まったく対応できない             | 4    |
| 合計    | 40   | 22  | ⑤相続・事業承継スキルの向上方法      | スキルを有している担当者との同行訪問     | 27   | スキルを有している担当者との同行訪問     | 16   |
|       |      |     |                       | 自身による学習 (資格取得)         | 12   | 自身による学習 (資格取得)         | 3    |
|       |      |     |                       | 集合研修                   | 1    | 集合研修                   | 3    |



## 複合渉外・兼任TACの現状と課題

|     | 複合渉外                                                                                                        | TAC                                                                                                                    |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 良い点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤経験年数が豊富な担当者が多く、相続・事業承継業務の重要性を理解している。また、一定程度の対応も可能</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤TACほぼ全員が営農相談を受けている</li> </ul>                                                  |
| 悪い点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤半数の担当者が相続・事業業務のスキル不足を感じていて、スキル向上の方法は、スキルのある担当者との同行訪問が効果的</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤経験年数の浅い担当者が多く、知識不足や業務への理解不足がある</li> <li>➤組合員からの相談内容が限定的で期待に応えられていない</li> </ul> |

## 複合渉外・兼任TACの育成が課題



## 課題に対する対応策

複合渉外

兼任TAC

①スキル向上

②事業への結び付け

③相談業務の理解

Off-JT（集合研修）  
OJT（同行研修）  
事例の共有

理念教育



# ①複合渉外の強化（事例の共有）

目的

複合渉外における相続相談業務の高度な標準化

内容

相続支援「優良事例報告発表会」

効果

- ①優良事例の共有化により複合渉外のスキル向上→複合渉外の成果の向上
- ②兼任TACが複合渉外の活動を知ることによって事業間連携の意識向上
- ③役員が相談業務の重要性を理解することで経営理念の再認識



# ①複合渉外の強化（事例の共有）

対象者

相続支援業務を実施した優績者 5 名を選抜

発表内容

- ①相続支援を実施
- ②後継者を巻き込み満足度向上
- ③複数の主要事業（信用・共済・購買・販売）利用に結び付く

表彰

- ①審査員による表彰
- ②複合渉外とTACによる投票による表彰





## ②兼任TACの強化（初級者・中級者スキル習得）

### 目的

農業者と円滑なコミュニケーションを築く

### 内容

兼任TACのコミュニケーションスキル習得研修

### 過程

- ①コミュニケーションの基礎的スキルの習得
- ②アクティブリスニングを活用したロールプレイングの実施
- ③農業者ニーズをディスカッションで考える

### 効果

- ①農業者と信頼関係の強化
- ②情報収集の増加

初級層  
中級層

3年以下  
4～6年





## ③兼任TACの強化（中級者スキル習得）

### 目的

農業者の問題解決提案力の向上

### 内容

兼任TACのコンサルティング習得実践研修

### 過程

- ①担い手支援室に1週間研修留学
- ②農業者への訪問による実地研修（問題把握）
- ③問題解決のための分析 → **解決提案**

### 効果

- ①農業経営の情報収集能力向上
- ②問題解決提案の実施により農業者の満足度向上



**中級層 4～6年**



## ④理念教育（管理者）

### 目的

管理者の役割の理解・理念の浸透

### 内容

管理者のリーダーシップ強化研修

### 過程

- ①役員による経営理念の説明
- ②ケーススタディによる経営理念の分析
- ③リーダーとしての役割の理解

### 効果

- ①経営理念の浸透（管理者から一般職へ教育）
- ②組織の一体感の醸成



## ④理念教育（複合渉外・兼任TAC）

### 目的

複合渉外・兼任TACの経営理念の意義の理解・浸透

### 内容

経営理念研修

### 過程

- ①役員による経営理念の説明
- ②経営理念の具体化
- ③理念に基づく業務反映の共有

### 効果

- ①経営理念の浸透（管理者から一般職へ教育）
- ②組織の一体感の醸成

組織全体に浸透させるために対象者を変えながら**繰り返し継続**



この研修を発展させて時代に合わせた**経営理念改定プロジェクト**に発展



## おわりに

JA金沢市のあるべき姿に近づくためには、組合員・利用者の入口である、複合渉外・TACによる相談業務の向上はかせない。

特に、JA金沢市の組織基盤・経営基盤の安定には、相続・事業承継業務は積極的に取り組む必要がある。

組合員・利用者の後継者もJA金沢市を利用してもらうために、職員全員が今一度、「あるべき姿」「JAらしさ」を理解する必要がある

これらを一つひとつ実行することで組合員・役職員はJA金沢市の

**「あるべき姿」 = 「わがJA」** と実感する

